

2020年度からの授業時間及び学年暦の変更について

学務担当副学長

聖心女子大学は、2020年4月より授業時間を1回100分に変更することといたしました。

本学は教育の質向上、学修環境の整備、学生生活の活性化を目指して不断の教学改革を進めています。その一環として単位制度に沿った授業時間数の確保と、学生の皆さんが社会環境の変化に対応した柔軟な学習ができるよう、授業時間割と学年暦を検討してきました。学生の皆さんからの意見聴取も実施し、各学科や教学組織の慎重な審議を経て、以下のように改定することを決定いたしましたのでお知らせします。

1. 2020年度からの授業時間割・学年暦改定の内容

2020年度から学部・大学院の授業について授業時間・回数が「半期 100分×14回」となります。授業時間割は以下の通りとなります。

時間割	2019年度まで		2020年度より	
	時間	90分	時間	100分
1限	09:00～10:30	90分	09:00～10:40	100分
2限	10:40～12:10	90分	10:50～12:30	100分
昼休み	12:10～13:30	80分	12:30～13:30	60分
3限	13:30～15:00	90分	13:30～15:10	100分
4限	15:10～16:40	90分	15:20～17:00	100分
5限	16:50～18:20	90分	17:10～18:50	100分

2. 授業時間・学年暦改定の理由とメリット

- (1) 授業時間を100分×14週に変更することにより、通常の授業期間だけで単位の修得に必要な授業時間を確実に確保することができます。
- (2) 月曜日に代表される休日(祝日)の授業実施が従来よりも減ります。
- (3) 100分×14週の授業時間導入により、従来よりも夏期休業期間を確保することができます。この期間を利用して学生の皆さんは各種の実習や海外語学研修、ボランティア活動、インターンシップ等の正課・正課外活動に参加しやすくなります。教員においても国内外における学会や研究会、研修等への参加の幅が広がり、教育・研究力向上が期待されます。
- (4) 「単位の実質化」を図るとともに、学生の皆さんが「学力の3要素」(知識・技能の習得、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等、主体的・協働的に学習に取り組む態度)を修得するために、今まで以上に全学的にアクティブラーニングの体制を整えやすくなります。

3. その他

時間割の変更に伴い、各種窓口開設時間・施設開館時間等については、学生の皆さんの学びと利便性を確保するための変更を検討しています。決まり次第、大学ホームページ等でお知らせします。

本件の照会先：教務課